

自然環境の分野のまとめ

里山

農業・林業が生活できない

⇒ 里山の放棄につながった

希植物やキノコ見られなくなった

加木の間伐 ⇒ 環境改善

シカによる獣害の問題も残っている。

川

人が川から離れた

コンクリートやフェンスなどの物理的の面

川に近づけずにはいられない、という社会的の面

河川法など県や国交省などの河川管理上の課題はありますが、加木が管理していたこともあった

川辺に草がくさの道を作ったり、魚をとったりして川を身近にしたい、これは社会構造として

川に手を入れずして、その分責任が増えたというところ。

これにより危険なこともしたからない。よ、川に誰も(特に子ども)近づかなくなった。

川にしても里山にしても教育から考えなくてはいけない必要がある!!

温暖化

現在、さまざまな問題が起きているが、

過剰な生活に戻るのはなく、

やり方や使い方を責めることで改善できるのではなかろうか。

太陽光や雨水などの使っているものはたくさんある。

個人的には、プラス思考で楽しく実践することが大事。

また、便利になりすぎた中で、

中間のものを考えることも大事に思っている [生ゴミの利用
衣服のリサイクル]

例えば、森林を再生する、国産エネルギーを設置するなどの

難しい課題も議論に当たってほしい。家族の団らんが

増えれば自然と家族の形成につながるという

話も聞いた。

教育

このような課題を解決するには「教育」という視点が

必要不可欠。大人や地域がこれを任せる。

知識を教えるのではなく、体験させる。

これが子ども自身の気が通るようになる。

いろいろな目的をもってそれぞれの団体から活動

しているが、「教育」として、活動が重なる部分の

協力し合っていく。